

第1回次期総合振興計画（区の将来像）に係る緑区検討懇話会 議事要旨

開催日時：2018年11月29日（木）14:00～16:00

開催会場：さいたま市緑区役所 3階大会議室

出席者（懇話会委員）：

さいたま市緑区歴史の会 幹事	石田 教治 氏
美園地区自治会連合会 会長	大熊 博 氏
緑区商店会連合会 副会長	奥田 敏明 氏
リサイクル女性会議（緑）代表	笠置 和子 氏
見沼市民フォーラム 会長	菊池 元希 氏
見沼田んぼ保全市民連絡会 理事	小林 節子 氏
緑区シニアクラブ 副会長	佐々木 佑 氏
原山地区自治会連合会 会長	篠原 千恵子 氏
尾間木地区自治会連合会 会長	鈴木 甫 氏（座長）
青少年育成さいたま市民会議緑区連絡会 代表	田口 邦雄 氏（職務代理）
尾間木地区社会福祉協議会 理事	利根澤 晃子 氏
緑区子ども文化推進連絡会 副会長	沼倉 ノリ子 氏
緑区区民会議 会長	長谷川 浄意 氏
花いっぱい運動推進会 緑区支部 支部長	花岡 能理雄 氏
さいたま市PTA協議会緑区連合会 監事	星野 祥太 氏
三室地区自治会連合会 会長	星野 孝男 氏

（事務局：さいたま市）：

緑区役所：並木 区長 / 阿部 副区長 / 曾根 区民生活部長 / 池田 健康福祉部長
/ 加藤 総務課長

都市経営戦略部：溝 副理事 / 篠葉 参与

欠席者（懇話会委員）：

緑区民生委員児童委員協議会 会長 鳥海 修一 氏

議題及び公開又は非公開：（議題） 緑区における「課題」と「将来への期待」について
緑区の将来像・まちづくりのポイントについて
緑区の将来像の見直しについて

（公開又は非公開の別）公開

傍聴者の数：0人

審議した内容：議題のとおり

問合せ先：緑区役所 区民生活部 総務課 電話番号 048-712-1123

1 開会

2 挨拶

区長及び都市経営戦略部副理事より、挨拶があった。

3 出席者紹介

委員及び事務局の紹介があった。

4 座長及び職務代理者の選出

委員の互選により、座長に鈴木委員を、座長の指定により職務代理者に田口委員を選出した。

5 意見交換

- (1) 緑区における「課題」と「将来への期待」について
- (2) 緑区の将来像・まちづくりのポイントについて
- (3) 緑区の将来像の見直しについて

各委員より、上記議題について、次のとおり意見及び感想を述べた。

●緑区における課題と将来への期待について

・7月中旬に見沼田んぼで蛍の見学会を催しているが、関係する団体が解散したということで後ほど今年はどうするのか相談させていただきたい。

また、見沼田んぼの関係では自治会で6月にジャガイモ掘り大会、10月にさつま芋掘り大会を開催し、小さい子どもを持つ家族連れが多数参加する。このような新しい試みで見沼田んぼをご利用いただければと思う。

自治会関係では、自治会の脱退の主な理由として住民の高齢化や役員の負担増加があり高齢者の脱退が多い。そこで、役員を免除する、80歳以上は自治会費を免除する方向で検討しているので、ご理解をお願いしたい。

・自治会の加入率は将来に影を落とすと考えられる。

・高齢者の行く場所、集まる場所がないことが問題になっており、空いている家があれば借りていただいて、施設のようなものを作っていただければと思う。高齢者と若い人が多くなっているが、自治会の構成など、高齢者と若い人とのバランスがとれればと思っている。

・空き家を高齢者の集う場所として活用できないだろうか。

- ・自治会の加入者が少なく、行政が加入を促す取組みも必要だと思う。

花いっぱい活動をオープンガーデンの地図に加えるなど、広範囲で区が推進していただければと思う。

- ・子ども祭りを1年ぶりに開いたが、小学生の姿が少なかった。小学生でもお年寄りでも、人が集う、行き交う場所や祭りがあるとよいと思う。

- ・場所というのは、広場のようなものか。

- ・子どもが家にこもりがちで地域で見るのが少なく、地域でもその様な場を設定できればと思う。

- ・道路環境の整備において、幹線道路の渋滞、それにとまなう生活道路への車の侵入があり、幹線道路の整備の促進を進めるべきと思う。

教育はさいたま市の特徴であり、教育など子ども達が過ごしやすくなる環境というものを計画に入れることができないかと思う。

見沼田んぼは緑区にとって大きな特徴であるので、アピールすべきポイントではないか。また、子どもたちが活躍できる場を作る仕組みづくりができると良いと思う。

- ・区の将来像について、夢と希望を持てる緑区の将来像を表現できればと思う。例えば、緑区の特徴を生かすとか、住んで良かったまち緑区、住みたいまち緑区、とかそのようなイメージの下、将来像を語ったり、夢を持っていける姿があればと思う。

- ・郷土愛を育てるまちづくりについて、緑区お宝百選という取組みがあり、開催委員として参加し、皆さんに好評いただいた。

生活にやさしいまちづくりについて、防犯パトロールや避難所運営訓練を行った。

自然と共生するまちづくりについて、見沼田んぼキレイきれい大作戦では交通警備に携わったが、豚汁や鉢物をもらって楽しかったのではと思う。

生活環境の整ったまちづくりでは、小学生の子ども自転車免許に警察と共に携わった。東浦和駅前のツリーの関係も交通警備に携わり、見学された方も多かった。これまでの取組みも今後に向けても安全安心のまちづくりを続けていただければと思う。

ランドマークが無いということに関連し、通船堀公園のところの臨時グラウンドは今後公園になるのか。

- ・グラウンドの利用率が高く、公園にするのであればグラウンドの代替地を探してからであろう。計画の中にスポーツ振興という項目が無い。グラウンドが無い中で見沼田んぼには休

耕田も多く、それらを活用できればと思う。

- ・10区の中でこの様な将来像をつけることができる区は他にないのではないか。

また、他地域の桜を見たが見沼の桜は素晴らしく、桜並木を区のシンボルにできればと考えている。

若い世代が住居を求め人口も増加しているが、地域で盛り上がれることがあれば子どもが出てくる。そのような環境を整備する取組みが大事であると思う。

- ・区の将来像は先輩方の思いが込められた素晴らしいものであると考えている。

全国レベルのサッカーの中学校があり、伝統的に地域でスポーツを育成する先輩方がいるからであると思う。そのような中で、浦和区、西区のようにスポーツ施設の充実も重要ではないか。

緑区は見沼田んぼに占める面積が最大であるので、環境共生の分野ではリーダーシップをとっていく使命があるのではないかと。区には、通船堀公園や第一調整池、桜並木、アートのまちである等、他に負けない観光資源があるのに認知されていない。アンケートから緑区への親しみ度合いが低い結果になっているが、愛着や誇りを育むような対策を行うべきである。環境と利便性においては素晴らしいバランスを有しているため、区の魅力をもっと発信していきたい。虫に関連した活動をしており、大きなイベントは高齢化もあり活動が難しくなっているが、小学校や老人ホーム等小さな地域単位で開催している。「ホタル舞い」と将来像にあるが、自然環境をイメージする活動を今後も続けていきたい。

- ・さいたま市10区あって、緑区だけ違うまちをつくるということも可能か。

市：大きな理想の下でこの様なまちになったらいいな、ということが将来像で、その将来像に向かってまちづくりのポイントが5つあるが、それについて委員の得意分野からご発言いただきたい。

- ・緑区に悪い人がいないようにしたい。今、移民のことが言われているが、安心して治安のよい住みよいまちになるのが理想である。これから10年先、100年先の将来はどのような文明になっているか分からないが、住んでいて安全安心で住みよいまちにしたい。

緑豊かなまちにするには開発を制限する必要がある。自然を破壊しないと文明は発展しない。従って、緑だけを守るのは不可能である。見沼を守るということであれば、農家が耕作していないと永久的に守っていけない。土台を直さなければ守っていけない。

- ・見沼田んぼ保全活用創造の基本方針により、見沼田んぼの中にグラウンドを作るのは難しいのではないか。ホタル舞い・風かおる緑の街とあるが、何とかこれに特化していただければ

ばと思う。見沼田んぼでお米を作っているが、田んぼと用水があると子供たちは遊びにやっ
て来る。そのような環境を取り戻すことに力を入れていただければと思う。

・緑区の老人会の加入率は10区で一番低く3%台であり、できれば老人会の支援を皆さん
にお願いしたい。ポイント2について、「子育て支援」、「介護」が同じ項目内に併記されて
いるが、別々に項目立てしても良いのではないか。また、この中には若者の支援、障がい者
への支援項目もあってよいと思う。

・連合会の中で原山地区、尾間木地区、三室地区、美園地区、それぞれ構造が異なるので、
生まれてくるものや考え方は違ってくると思う。それぞれの地区の特徴を生かした支援が
あっても良いのではと思う。会議の中で、区全体と地区ごとの考え方は違ってくるのかなと
思う。

・高齢者を大切にするには、家族制の復活であると思う。高齢者の面倒を見るには大家族の
復活が必要であると思う。

・まちづくりのポイント1に案山子の発祥記念碑の写真があるが、子育てサロンの中におい
て、今の子供たちは童謡を知らない状況である。

また、サロンには外国の方と結婚されて、姑さんがお嫁さんの知り合いづくりに連れてこ
られるので、外国語表記に対応した公民館便りを作らなければいけないと思っている。

・見沼田んぼにより美園地区と浦和に近いエリアが分断されているように感じる。両方の地
域が交流できる場所の充実が出来ればと思う。

また、特定の道路が混むことが課題となっている。

まちづくりのポイント1について、「誰もが参加でき支え合うコミュニティづくり」の内
容を具体的にしたい。

PTAに参加して初めて地元の方と関わり合いを持つようになったが、地元優先主義の壁
を感じる。地元を誇りを持ってほしいと思うが、「誰もが参加でき支え合うコミュニティ
づくり」について、何をやられているのかよく分からず、参加できる機会がどこにあるのか
よく分からないので、取組みを具体化してほしい。

また、そのためにメディアを活用するなど取組み内容の情報発信力を高める必要がある
のではないかと感じる。

ポイント4において、「人と環境に優しい公共交通のさらなる充実」は、イメージがわか
きやすいような表現に改善すべきではないかと感じる。

・大型店の出店と高齢化が背景に商店街が振るわなくなっている。

また、桜等の名所に休憩所が無いので、設置すれば賑わいが出てくると思う。まちづくりには宣伝が重要だと思う。

・まちづくりのポイント1について、「地域の文化財などの歴史・文化資源を活用し」とあるが、内容を具体的にすべきである。具体的の例としては、休憩所の設置や見沼にビジターセンターを設置することなどがある。

6 閉会